

かみふんの

# 議会だより

第 98 号

2018 年 4 月 25 日発行

発行 上富良野町議会

## Contents

- 2 P 新年度予算
- 4 P 予算特別委員会 平成 30 年度予算を審議
- 8 P 一般質問 7 名の議員が町政を問う
- 16 P 委員会のうごき
- 22 P 追跡 あの質問「どうなったの？」
- 24 P ☆ぴか☆つと輝くまちのひと

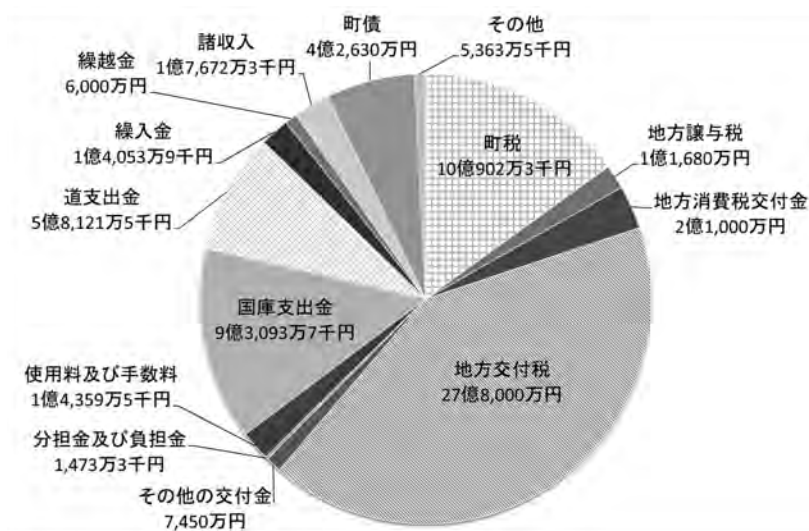
# 4,669 万 9 千円を可決

## 67 億 1,800 万円

### 歳入

自主財源の町税は、前年度比 1・1% 増の 10 億 9 0 2 万 3 千円となり、国から交付される地方交付税は、前年度比 1・1% 減の 27 億 8 千万円となりました。

歳入総額では、公共施設整備基金等を 1 億 4 千 5 3 万 4 千円取り崩すなどをして、前年度より 7・3% 増の総額 67 億 1 千 8 0 0 万円を計上しました。



### 第5次総合計画の最終年度、総まとめ予算

平成 30 年第 1 回定例会は 3 月 6 日から 22 日までの 17 日間の会期で開催し、各会計の補正予算、条例、新年度予算、人事案件などを慎重に審議しました。

予算特別委員会では、住民全体の福祉の増進を念頭にいた予算になつていくか審議し、最終日には表決が行われ、可決しました。

また、7 人の議員がクリーンセンター焼却施設や子どもの医療費無料化などについて一般質問を行ない、町の考えを問いました。

#### 多子世帯保育料軽減支援

保育所等を利用する第 2 子以降、3 歳未満の保育料を無償化します。軽減対象となるには、3 つの要件があります。



1,054 万円

#### 泉町南団地建設 (4 号棟)

平成 30 年度は、4 号棟として鉄筋コンクリート造り 2 階建て、1 棟 11 戸の建設を実施します。



3 億 2,950 万円

主要事業はどんな事業??



# 30 年度 予算

一般会計  
特別会計  
企業会計

# 総額 111 億

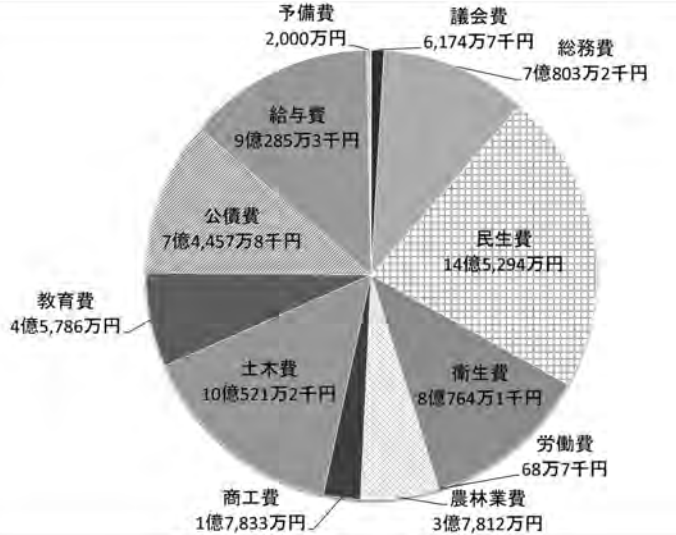
一般会計は

歳出

義務的経費のうち人件費は、給与改定や特別職、議員報酬の改定により前年度比1.8%増、扶助費についても、前年度比9.1%増の28億2千510万1千円を計上しました。投資的経費は、国営かんがい事業（しろがね土地改良区）に対する償還は完了しましたが、泉町南団地整備事業、上富良野中学校及び社会教育総合センターのトイレ改修などにより、全体で2億7千978万円増となりました。

■ 平成 30 年度 各 会 計 別 予 算 額 ■

| 会 計 名   |               | 30 年度 予算                  | 前年比     |
|---------|---------------|---------------------------|---------|
| 一 般 会 計 |               | 67 億 1,800 万円             | 7.3%    |
| 特 別 会 計 | 国 民 健 康 保 険   | 12 億 2,367 万 2 千円         | ▲ 17.0% |
|         | 後 期 高 齢 者 医 療 | 1 億 4,558 万 5 千円          | 6.2%    |
|         | 介 護 保 険       | 9 億 7,536 万 2 千円          | 5.7%    |
|         | ラベンダーハイツ事業    | 2 億 7,882 万 7 千円          | 1.1%    |
|         | 簡 易 水 道 事 業   | 8,211 万 7 千円              | 27.7%   |
|         | 公 共 下 水 道 事 業 | 4 億 5,640 万 7 千円          | 6.0%    |
| 企 業 会 計 | 水道事業          | 収益的支出<br>1 億 7,073 万 2 千円 | ▲ 0.9%  |
|         |               | 資本的支出<br>1 億 2,457 万 4 千円 | ▲ 2.2%  |
|         | 病院事業          | 収益的支出<br>9 億 5,202 万 2 千円 | 4.9%    |
|         |               | 資本的支出<br>1,940 万 1 千円     | ▲ 32.1% |
| 合 計     |               | 111 億 4,669 万 9 千円        | 3.2%    |



## 介護福祉施設整備

平成 30 年 12 月に開所予定の、民間事業者が行なうグループホームの整備に間接補助を行ないます。建設予定地は緑町です。



4,318 万円

## 上富良野中学校外構整備

上富良野中学校の教育環境の充実を図るため、外構整備を行います。駐車場、駐輪場、前庭・バス通路を整備し、物置の設置を行ないます。



7,361 万円

# 平成30年度予算を徹底審査!!



新年度予算は慎重な審議が必要なため、3月定例会で予算特別委員会を設置し、審議するよう付託されました。

議長を除く13名で構成され、村上和子副議長を委員長に4日間開会し、予算に対する質疑や意見書をまとめ、町長に提出しました。

会計ごとに賛成・反対の討論や起立での表決を行い、全ての予算を賛成多数で可決しました。

この審議結果を22日の定例会で報告し、全て原案どおり可決しました。4日間で多くの質疑が行なわれたその一部を紹介します。

## 新年度予算はどう使われるのか？

### 一般会計

#### 歳出

#### 拠点施設

#### 問

現在検討している拠点施設の概要は。また、先進地視察をしているが、その概要は。

#### 答

現段階で想定する機能は、防災情報集約ができるものや、炊き出しができるような農畜産物加工場などを考えている。場所や機能などを議論するための調査である。

先進地は、岩手県紫波町の民間活力を導入した運営で、ホテル・土産品店・テナントショップなどで構成されている施設と、岩手県滝沢市の農産物販売や、芸術文化サークルが活動しやすい複合施設を視察した。

#### 「泥流地帯」映画化

#### 問

「泥流地帯」映画化を進める会への負担金が予算化されているが、今後の必要な予算は、補正予算で対応するのか。

#### 答

今年度、町民の機運醸成事業を中心に積み上げでの今年度予算であるが、対外的な折衝も出てくるため変動要素もあり、議会に諮りながら予算を計上していく。

### ジオパーク推進

#### 問

ジオパーク推進の看板は。また、人件費は。

#### 答

ジオサイト2か所に説明看板の設置を予定している。

人件費は、地域おこし協力隊として条件を示して募集し、合意が成立している。



白銀荘に設置されている看板

### 定住・移住

#### 問

定住・移住を担当する支援員の配置は。また、体験住宅の整備が必要では。

#### 答

支援員、専門員の配置は検討中である。「お試し暮らし住宅」は老朽化しているため、試行として民間アパートの空き部屋1戸を活用する。

### 町道の維持・管理

#### 問

道路パトロールを強化し、町道の適正な維持・管理を。

#### 答

夏季は1・2回、冬季は毎日実施し、道路補修など、計画的に除排雪をしている。

放課後スクール等

**問** 放課後教育健全育成事業の指導員、支援補助員のなり手確保の体制整備を。

**答** 現在は11名の指導員で運営しているが、新たな募集や、声かけなどをして進めている。

ラベンダーハイツ事業特別会計

**問** 臨時職員賃金等の抑制、効率的職員配置としているが、職員が減り、サービス等に弊害が出ているのでは。歳出削減ではなく、サービス向上のために予算をつけるべきでは。

**答** 臨時の介護職員を募集したが、集まらず、9名の介護職員で運営してきた。ショートステイや特別養護老人ホームとの連携などで、工夫して対応している。

経営は厳しい状況

であり、必要な人員は確保し効率化を図り、サービスが低下しないように対応している。



ラベンダーハイツ

10項目の審査意見を付しました

●一般会計（8項目）

「泥流地帯」映画化

町と映画制作会社、映画化を進める会との役割分担を明確にし、それぞれの取り組みの進捗状況を情報提供すること。

ジオパークの推進

町民の認識を高める上からもジオ看板の設置場所等、更なるPRについて配慮すること。

定住・移住

促進のため、専門員を配置するなど施策の充実を図ること。

マイナンバーカードの普及

コンビニ交付システム使用料の費用対効果を高めるため、マイナンバーカードの更なる普及に努めること。

福祉の推進

貧困アンケートの実施については、サンプルが多いほど実態や実情が把握できるので、悉皆調査にすること。

観光振興

多言語能力を有する人材の確保に努めること。

町道の維持・管理

道路パトロールを強化し、町道の適正な維持・管理、除排雪に努めること。

放課後スクール等

放課後スクール等の指導員のなり手不足が深刻なため、待遇改善などを進め、指導員の安定的確保に努めること。

●ラベンダーハイツ事業特別会計（1項目）

経営の安定のために、人材確保とサービス向上に努めること。

●総括（1項目）

情報提供については、適宜適切な情報提供に努めること。

討論——一般会計——

反対（米沢議員）

「泥流地帯」の映画化を進める会への予算は、本来、年間の必要額は当初に確保すべきで、透明性に欠けます。

拠点施設調査では、老朽化する施設の維持管理を考えれば、優先順位の見直しが必要で、高齢化などにより、地域の拠点病院の役割は重要であるため、早急な対応が求められます。介護保険料は、一般会計からの繰り入れ、基金の取り崩しなどで、加入者の負担軽減に努めるべきです。

職員の自衛隊研修は、全体の奉仕者としての公務員の精神に反するため、やめるべきです。また、人事評価制度は、職員間の格差と差別を助長する制度であるためやめるべきであることから、反対します。

賛成（岡本議員）

平成30年度は、第6次総合計画の策定を行う重要な年であります。

歳入は、財源の多くを地方交付税に依存している苦慮された歳入構造になっています。

歳出は、様々な課題に対応する継続的な財政需要が見込まれ、一層の自治体経営の安定化が求められています。道路の整備、民間アパートを活用する「お試し暮らし住宅」の試行運用、後期高齢者医療保険被保険者を対象に道の補助金を活用した優待券交付など、町民に直結した住民サービスの実現が図られている予算措置であることから、賛成します。



条例

介護保険条例の一部を改正

介護保険法の改正及び第7期介護保険事業計画（平成30年～32年度）策定に伴い、介護保険料等の見直しや、介護保険事業運営の安定化を図るために介護保険条例の改正が提案され、審議の結果、原案のとおり可決しました。

介護保険料の算定においては、高齢者の増加、介護認定者数の増加、グループホームの新設、介護報酬の改定等を見込み、介護保険事業基金6千万円を繰り入れて介護保険料の上げ幅の圧縮が行なわれました。

なお、公費による低所得者（第1段階）の保険料軽減は、継続実施されます。

改正内容

| 所得段階  | 改正前                  | 改正後                  | 増額                 |
|-------|----------------------|----------------------|--------------------|
| 第1段階  | 24,300円<br>(27,000円) | 26,400円<br>(29,400円) | 2,100円<br>(2,400円) |
| 第2段階  | 35,100円              | 38,200円              | 3,100円             |
| 第3段階  | 40,500円              | 44,100円              | 3,600円             |
| 第4段階  | 45,900円              | 49,900円              | 4,000円             |
| 第5段階  | 54,000円              | 58,800円              | 4,800円             |
| 第6段階  | 64,800円              | 70,500円              | 5,700円             |
| 第7段階  | 75,600円              | 82,300円              | 6,700円             |
| 第8段階  | 86,400円              | 94,000円              | 7,600円             |
| 第9段階  | 91,800円              | 99,900円              | 8,100円             |
| 第10段階 | 97,200円              | 105,800円             | 8,600円             |

※第1段階の括弧内は軽減前の保険料です。（年額）

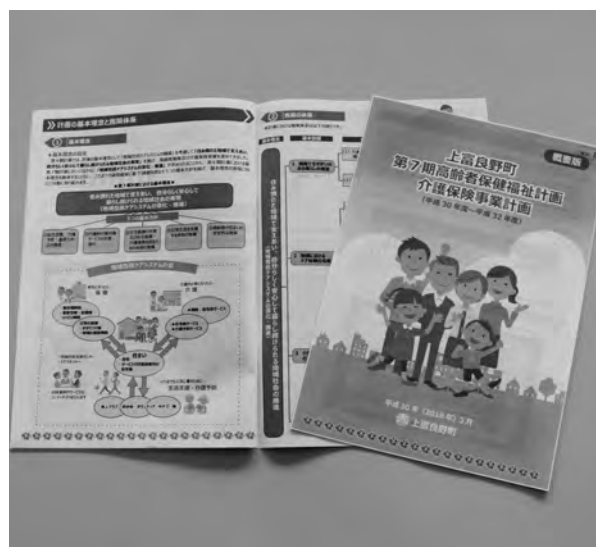
質疑

**問** 基準額に対する負担割合となつていますが、所得に対する負担割合とすると、所得の高い人ほど割合が低くなるという逆転現象が出ている。不公平ではないか。

**答** 国が示す9段階より1段階多い10段階として設定している。所得の多い方は負担割合が多いため、ご理解を願います。

**問** 介護度重度化の予防、認知症発症率を低く抑える取り組みをしているが、さらに発展させ、要介護認定率を抑えることはできなかったのか。

**答** 第7期介護保険事業計画に示した4つの基本目標を着実に推進し、要介護認定率の抑制を図る計画です。保健予防、介護予防を実施する一方、後期高齢者が増えるなど総合的に判断し、14・9%の要介護認定率となる計画となりました。



第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

国営土地改良事業

負担基金条例を廃止

国営土地改良事業の負担に必要な財源を確保し、町の健全な財政運営を図ることを目的に条例を設置し活用してきましたが、平成29年度末をもって、国営畑地総合土地改良パイロット事業しらがね地区事業負担金の償還が終了するため、上富良野町国営土地改良事業負担金条例を廃止する条例が提案され、原案のとおり可決しました。

残金は、上富良野町農業振興基金として積み立てられます。

富良野広域連合議会

第1回定例会

平成30年第1回富良野広域連合議会定例会が2月15日に開催され、連合長から行政執行方針が示されたほか、新年度予算案、補正予算案、条例改正1件、報告1件が原案のとおり可決されました。

閉会中の継続調査として、総務産業委員会から「常備消防の運営について」の調査報告がありました。

平成30年度一般会計予算は、歳入歳出総額24億7千34万9千円（前年度比1億3千709万9千円増）となりました。

## 補正予算

## 一般会計の補正予算を可決

除排雪費の不足による補正、事業費確定による町営住宅整備事業外3件の地方債の限度額の変更、一般廃棄物処理施設重機（ブルドーザー）更新に伴う補正、ふるさと応援モニター事業による寄附採納及び各基金等の補正、各事業費確定見込みに伴う執行残の減額補正、一般廃棄物ごみ袋作成に係る事業費の補正など、歳入歳出それぞれ1億3千69万2千円を追加し、総額67億3千572万5千円とする補正予算を原案のとおり可決しました。

## 人事



代表監査委員  
米田 末範さん（再任）  
宮町3丁目

3月31日をもって任期満了となる代表監査委員に、引き続き米田末範さんを選任する議案が提出され、全員賛成で同意しました。

## ■ 3月補正予算の状況 ■

| 会計名  |            | 補正額         | 総予算額         |
|------|------------|-------------|--------------|
| 一般会計 |            | 1億3,069万2千円 | 67億3,572万5千円 |
| 特別会計 | 国民健康保険     | ▲1億710万円    | 14億7,917万8千円 |
|      | 後期高齢者医療    | 250万円       | 1億3,838万5千円  |
|      | 介護保険       | ▲560万円      | 9億3,485万7千円  |
|      | ラベンダーハイツ事業 | 605万5千円     | 3億613万4千円    |
|      | 簡易水道事業     | ▲667万3千円    | 5,779万9千円    |
|      | 公共下水道事業    | ▲223万7千円    | 4億907万9千円    |
| 企業会計 | 水道事業       | 収益的支出       | ※0円          |
|      |            | 資本的支出       | ▲2,470万5千円   |
|      | 病院事業       | 収益的支出       | 800万円        |
|      |            | 資本的支出       | ▲319万6千円     |

※水道事業会計の収益的支出は予算の組み替えのため、補正額は0円です。

## 各特別会計及び各企業会計の

## 補正予算を可決

各交付金や事業費の確定に伴い、国民健康保険、介護保険、簡易水道事業、公共下水道事業の特別会計及び水道事業、病院事業の企業会計を減額する補正予算、後期高齢者医療、ラベンダーハイツの特別会計を増額する補正予算について、原案のとおり可決しました。

## 契約

## 東1線排水路整備工事

## (H29国債)請負契約の締結

東1線排水路整備工事の請負契約について、指名競争入札により5千545万8千円で高橋建設株式会社と締結する議案を原案のとおり可決しました。

工期は、契約の日から平成31年2月22日までとなります。

## 町道

## 町道路線の廃止及び認定

東中地区の町道北17号道路の廃止と認定をする議案を、原案のとおり可決しました。

当該道路について、産業道路として農作物の円滑な運搬と品質保持などの利便性と安全性を向上させるため、道営農地整備事業（一般農道整備）を活用して改良舗装を行うことより、道道と町道（農道）の区間が重複した区間について、最初に全路線3千343・3mの廃止を行い、本事業で整備する区間588・6mを新たに認定するものです。

# 一般質問

## 7名の議員が町政を問う

一般質問とは、定例会において議員が住民の声や自身の考えなどをもとに、町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

議会だよりではスペースの都合上、質問と答弁を要約して掲載しています。

詳細は後日、行政ホームページに掲載します。

議場では臨場感のあるやり取りを傍聴することができます。ぜひ、議場へお越しください。

| ページ | 質問議員     | 質問事項                                                                                          |
|-----|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9   | 北條 隆男 議員 | ① クリーンセンター焼却施設について                                                                            |
| 10  | 荒生 博一 議員 | ① 合葬式施設について<br>② 観光振興策について                                                                    |
| 11  | 佐川 典子 議員 | ① 高齢者を情報弱者にしないための施策について<br>② 協働のまちづくり推進助成金について<br>③ スマートフォン決済について                             |
| 12  | 金子 益三 議員 | ① 白銀荘の改修について<br>② 子どもの医療費無料化について                                                              |
| 13  | 米沢 義英 議員 | ① 障がい者の地域生活支援事業について<br>② 中学生の医療費の無料化について<br>③ 定住移住策について<br>④ 人材の確保の補助制度について<br>⑤ 給食費の負担軽減について |
| 14  | 竹山 正一 議員 | ① 上富良野町商業振興計画について                                                                             |
| 15  | 高松 克年 議員 | ① 今年度の除雪対応について<br>② 演習場の騒音対策と情報開示について                                                         |





ごみ

— 北條 隆男 議員 —

## クリーンセンターの今後と将来の稼働計画は 施設の長寿命化を図りつつ、 将来に向け広域で検討したい(町長)



建設から 19 年が経過したクリーンセンター

**北條議員** 現在稼働中

の焼却施設等は、メンテナンスなどをして今後何年使用できるのか。

**向山町長** 焼却施設の稼働見込みは、クリーンセンター建設後 19 年が経過しており、現在、クリーンセンター長寿命化計画に基づき、施設の維持管理に努めている。

ごみ焼却施設の稼働年数は、一般的に 15 年から 20 年とされ、これまで

大小修繕を行いながら長寿命化を図ってきたことにより、一定程度の健全度を保ち稼働でき

ており、当面は引き続き修繕計画を持つて稼働していく。

今後の使用可能年数は、最終処分場の最短期間 3 月末を目途としており、最低でもその時期までの稼働を目指し、適正な維持管理に努める。

**北條議員** 今後、新しい焼却施設への更新を行う場合、町が単独で行なうのか、広域で行なうことを考えているのか。

また、町が単独で行う場合、第 6 次総合計画に入れなければ間に合わないのではないのか。

**向山町長** 現在、富良野広域における一般廃棄物の広域処理は、「一般廃棄物処理に関する協定書及び覚書」に基づき、クリーンセンターでは、富良野市・中富良野町・南富良野町から、粗大ごみ・衛生ごみ・可燃ごみを受け入れている。

新たな施設の整備については、広域での協議を踏まえながら、建設にあたっては、計画から建設・稼働までには概ね 5 から 6 年は要するものと思われ、第 6 次総合計画での位置付けは、後期計画の中で示していくような検討が必要と

考えている。

### おしえて !!

#### 『広域搬入ごみの状況』

平成 29 年度にクリーンセンターで受け入れ、処理した各市町ごとの広域搬入ごみは、以下の表のとおりとなっています。

| 自治体名     | 項目   | 平成 29 年度 |
|----------|------|----------|
| 中富良野町    | 衛生用品 | 101 t    |
|          | 粗大ごみ | 29 t     |
| 富良野市     | 衛生用品 | 512 t    |
| 南富良野町    | 可燃ごみ | 424 t    |
| 合計       | 衛生用品 | 1,037 t  |
|          | 粗大ごみ | 29 t     |
| 広域搬入ごみ合計 |      | 1,066 t  |



クリーンセンターの内部



— 荒生 博一 議員 —

お墓

## 合葬式施設が今後必要では いまのところ検討しなければならない 状況ではない(町長)



中央共同墓地

荒生議員

納骨堂や合

葬式施設が全国的に広

がり、墓は子孫が代々管

理する考え方や家ごと

の墓にこだわらない共

同利用を許容する意識

の広がり、人々の価値観

の多様化がうかがえる。

こうしたライフスタ

イルの変化に応じた多

様な形態の墓を選択で

きる環境が必要と考

えるが、町長の考えは、

向山町長

納骨の形態

は、一般的に墓地や納骨

堂などがあるが、価値観

の多様化により、祖先の

祭祀に対する考え方の

変化は理解している。

現在の多くの合葬式

施設は、従来の祖先を

代々祭るためのお墓と

いうより、遺骨を守る遺

族の負担軽減を考慮し

た施設と理解している。

当町は墓地の管理状

況も良好であり、いまの

ところ合葬式施設を検

討しなければならない

状況ではない。

荒生議員

現在、観光協

会で積極的にPR活動

を行っている「かみふら

の八景」の数か所は、冬

期間訪れることができ

ない。当町の課題であ

る冬期間の集客増を目

指し、除雪を行ない、受

け入れ態勢を整えては

どうか。

向山町長

「かみふらの

八景」は、四季を通して

非常に高いポテンシャ

ルを有した景勝ポイン

トであるが、冬期間にお

ける厳しい気象条件の

中での展望場所や駐車

スペースの確保等につ

いては、難しい課題が

あるものと感じている。

現在、観光振興計画の

ワーキング作業におい

ても、閑散期・冬期間に

おける誘客メニューの

観光

かみふらの八景の除雪を行い

受け入れ態勢を整えては

活用するための検討を行う(町長)

荒生議員

現在、観光協

会で行った研究・検討

作業を進めているが、

「かみふらの八景」すべ

てに於いての冬期間を

通しての利用は難しい

と思うが、冬のイベント

等で八景を活用するた

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め

め



情報

— 佐川 典子 議員 —

## 高齢者等を情報弱者にさせない施策の推進を 情報格差を生まない

環境整備の充実を考える(町長)



情報機器であるスマホとタブレット

佐川議員 現在は子供

もITを使いこなし、活用できる世代と情報弱者の間で、社会的・経済的・年代的・意識的格差が拡大している。

東日本大震災の際には、メール以外利用不可の事例があった。防災士への対応も課題である。高齢化社会対策大綱や米国の動き等、情報弱者へのバリアフリー化が必要では。

第5次総合計画に、

「町民の情報に関する知識や技術の向上のため

学習機会を充実させる」とある。スマホ利用者等の学習環境の充実や、

病院診療のオンライン化などに備え、慣れ親し

む機会の増加が求められるが、考えを伺いたい。

向山町長

情報格差を生

まさないよう、町民の情報入手や学習意欲に対し、総合計画に縛られずにしっかりと整えるべきと理解している。

## 地域

協働のまちづくり推進の今後は

主体的に取り組む事案には

財源も考える(町長)

佐川議員

「協働のまち

づくりの具現化に予算をつけては」との質問に、

平成24年から補助金が利用可能になった。現在は見直しなどで、利用しやすい補助金となりつつある。

昨年の開基120周

年に起因する利用や今後の課題、促進PR、町民満足度など伺いたい。

向山町長

自治基本条

例施行10年を迎える。

町の最高規範で、町民が積極的に活動できるまちづくりを目指し、4年

間で5団体の利用があった。昨年の見直し

で「協働のまちづくり推進補助金」に改正した。

鈴木町民生課長 昨

年は10住民会、3グループへの助成を行った。



2月19日のまちづくりフォーラムの様子

今年度、3事業の継続

意思の確認をした。継続5年、3年、単年度の選択などを考慮し、予算計上した。

向山町長

更なる活用

の周知と活動の成果をまちづくりフォーラム

開催などで広く根付かせ、共有し、町の活性化に繋げるよう取り組む。

地域への応援から、地域と人、グループなどへの応援に変わり、町民の協働のまちづくりへの満足度を増やしていく。



—金子 益三 議員—

施設

## 吹上温泉白銀荘にエレベーターの設置を 必要な設備と考え、財政状況を考慮して 総合的に判断する(町長)



高齢者には厳しい階段

金子議員 十勝岳温泉

郷、吹上温泉白銀荘に高齢者の利便性を図るため、エレベーターの設置が必要と考える。

向山町長 町民の憩いの場として平成9年開設以来、現在は高齢化が進み、社会変化への対応、利用者の利便性を図ることから必要な設備と考えるが、設置に多額の費用がかかる。

収支状況や町の財政状況など総合的に判断をして対応を図りたい。

金子議員 町民の特に

高齢者の利用促進には、欠かせない設備と考えるが。

向山町長 私自身も早くから必要性を感じており、改善を進めたい強い思いでいる。様々な方向から取り組みを考え、前向きに検討したい。

金子議員 浴室等大規模に改修が必要な場合は、どのように行なうか。

向山町長 指定管理の振興公社と連絡を取り、計画的に進めていく。

子 育 て

早急に全児童生徒の医療費無料化を

優先度が高い事業とは考えず、

無料化は行わない(町長)

金子議員

上富良野町も全ての児童生徒を対象に医療費の無料化を行ない、子育て支援の充実を図り人口減少対策の一環として行なう必要を感じる。

向山町長

北海道の医療給付事業と連携し、乳幼児に全額助成を行ない、低所得者世帯の支援として町民税所得割非課税世帯の中学生までの全額支援を行なっている。

全児童生徒対象の補助制度を導入する考えはない。

金子議員

上川管内では、上富良野町と中川町以外の町村は、中学生や高校生までの医療費を全額無料化にしている。

向山町長

個々の自治



子育て支援に関する他町村のポスター

金子議員

子育て世代

体での導入で、思いのこもった子育て支援とはいえない切れない。

切れないのない子育て支援こそが一番大事で、医療費を無料化することが、最大の子育て支援や少子化対策とは考えない。

向山町長

人口流入に繋がるとは考える。

子育て支援の切り口は色々あるので、今後幅広く町民と意見交換しながら、さらに良いものとしていきたい。



子育て

— 米沢 義英 議員 —

## 中学生の医療費の無料化を 取り組む考えを持ち合わせていない（町長）



中学生の部活動の様子

**米沢議員** 全市町村で中学生以上の医療費無料化に取り組んでいる自治体は、約1千387自治体となり、子育て支援と抱き合わせて取り組んでいる。

町においても子育て世代からも多くの要望があるが、今後の対応は

必要な医療を適切に受けられる環境整備が町の責務であり、医療負担の軽減の在り方は、他の公共サービスを受けるための負担との整合性を考慮し、組み立てるべきとの考えから、子育て世帯における低所得者世帯に対し、子どもの医療費助成を拡大したところであり、現在の仕組みを継続していくことに町民の理解が得られると思っている。

福祉

## 障がい者の地域支援事業の窓口を町内で 対応できる要件があれば 調整したい（町長）

**米沢議員**

障がい者の地域支援事業は、地域や社会の中で生活できる機会を提供する必須事業として位置付けられている。

町においては富良野事業所に委託をしているが、窓口を町内に開設してはどうか。

**向山町長**

地域生活支援事業については、平成18年度より障害のある方が自立した生活や社会生活を送ることができるよう、地域の特性や本人の状況に応じて、柔軟な形態により事業として取り組んできた。

事業の創設時には、単独の市町村での実施が困難であったことから、障がい者サービス事業所として実績のある社



第2期上富良野町障害者計画

会福祉法人エクウエー ト富良野に本町を含め、富良野沿線5市町村で共同委託をした。

現在、町内において相

談事業を実施する要件を満たす事業所はないが、今後、要件を満たす事業所があれば対応したい。

—竹山 正一 議員—

## 上富良野町商業振興計画について

町も共有し、一緒に汗をかいていく（町長）



上富良野町商業振興計画

**竹山議員** 商業振興計画の平成28年度から30年度の3か年計画の進捗状況について伺いたい。

**向山町長** 買い物環境や消費動向の変化から、町内購買力の流出に拍車がかかり、商店街の活気が年々失われてきていると認識している。

商業基盤の強化を目的として、商工業者持続化補助事業を創設、商工会主導のもと、個店の魅力づくりに取り組んでいる。複合的施設の整備等を通じ、市街地の活性化につなげたい。

不足業種の開業実績にはいたっていない。

**竹山議員** 想定される実施主体ということで、町との関わりの項目中、2年間の実績、進捗状況等は。

**辻企画商工観光課長** 商工業者・商工会・町の三者が連携し、主体となっていく商工業者持

続化補助金は、平成28年度は15件の事業採択、29年度途中で6件、約250万円の補助実績となっている。

**竹山議員** あくまでも町の立場として、住民の生活を守る内容で話しを出し、実施主体となる三者の話し合いの場をどれくらい持ち、意見交換をしているのか伺いたい。

**向山町長** 商工業者、商工会、町の情報交換や意見交換は、ほとんど毎日仕事を見ている限りにおいて、相当頻繁に行なわれている実態にあると理解している。

**竹山議員** 町の動きとして、少し薄い、見えにくいと感じてしまう現状において、若い人向けに「この町に住み、商売をしませんか」といったPRについて伺いたい。

**向山町長** 起業を志す方々に対する支援制度を持っている。

行政としてできる部分、商業者が自ら取り組む部分をお互いが認識し合うことにより成り立ち、お互いの努力が結び合うことが必要と考える。

**竹山議員** 振興計画中の現状と課題、基本方針が提案、提示されている主体となつて作成した町が、将来のあり方を商

工会や商業者に伝えながら、意見交換、話し合いてこそ、振興につながっていくと思うが、このことについて伺いたい。

**向山町長** 商業者の方々ほどノウハウは持っていないが、町も一緒に汗をかいていくことは、絶対に必要であると共有している。



空き店舗の状況





除排雪

— 高松 克年 議員 —

今年度の除排雪の対応は

課題は検討を重ね、改善に取り組む（町長）



まだ残る雪山

**高松議員** 企業体対応

の除排雪は6年が経過した。機能を果たしてはいるが、今年の条件下での住民の反応は厳しいと思うが。

**向山町長** 町道全面委

託から企業体とは都度打ち合わせ、検討をしている。技術力、機械力、専門性等から成果は上がっているが、今年の反省と改善に向け、対策を進める。

**高松議員** 住民生活における重要度、優先度が

高いため、住民、企業体との合議が必要では。

**向山町長** 住民会会長

議等で担当が入念に意見交換は行なっている。十分な合意の上で進めていると判断する。

**高松議員** 高齢者、独居

老人世帯への福祉サービスがあるが、高齢者世帯の14%、110戸程度の利用に留まっている。対応を考えては。

**向山町長** 除排雪の負担能力を持つ人には、対

応をお願いしたい。

環境

演習場の騒音対策と情報開示を

騒音対策を求め、

情報は伝達している（町長）

**高松議員** 爆破処理の

騒音は、実測値は不明だが大音量と思われる。

昨年、7月6日の砲撃

音は、騒音対策基準を上回る平均85・7デシベルであり、7月の14日間の最大値は、全てで基準値以上となった。延べ回数は3千33回である。

**向山町長** 数値が基準

を超えているか、現状での判断材料は持ち合わせていないが、実態を踏まえ、住宅防音工事等により対処している。

地域の要望は、北海道防衛局に伝えている。

**高松議員** 数値は公開

されているが答える必要はないとのことか。

**向山町長** 答える立場

にはない、ということである。



モニタリングポスト

**高松議員** 演習場を持つ自治体では、騒音値の測定をし、数値を公表している。独自の測定が必要では。

**向山町長** 独自測定の

必要性は感じていない。昨年8月の

米軍オスプレイの訓練情報を新聞で知ったように、町民に対する情報開示が遅すぎるが。

**向山町長** 北海道防衛

局に対し迅速な情報を要請し、知り得る情報は早急に伝達する。

## 議会運営委員会

平成29年第3回定例会で閉会中の継続調査として申し出した先進市町村行政調査について、平成29年10月から5回の委員会を開催し、1月22日に浦幌町議会で「議会モニター制度、議員のなり手不足」、1月23日に芽室町議会で「議会改革、議会サポーター制度」について、それぞれ先進事例を調査しました。

## ◆浦幌町◆

### 議会モニター制度

議会モニター制度は、浦幌町議会基本条例の規定に基づき、町民が議会活動に参加する機会を確保し、町民からの要望、提言等の意見を広く聴取し、町議会がより民主的に運営することを



浦幌町議会の皆さまと

目的とし、平成25年4月の議会基本条例の施行に伴い、実施されました。第1期制度は、第1次議会の活性化の中で実施され、5名のモニターで5回の会議が行なわれました。第2期制度は、第2次議会の活性化の中で実施され、6名のモニターで5回の会議が行なわれました。第2回の会議は、初のワールドカフェ方式で行なわれました。

平成26年から現在、第3期制度が実施されており、2回の会議が行なわれています。議会モニターとなるには、公務員、各種行政委員を除く満18歳以上の町民で、町議会の仕組みや運営に関心のある方、町政や地域社会の発展に関心のある方の3つの要件があります。業務は、議会や常任委員会を傍聴して感想・意見・提案を寄せる、議会

改革及び活性化などに意見・提案を寄せる、議会報告会に出席して意見や提案をする、議会の評価を年2回するなど、6項目があります。任期は2年で報償はなく、1年間毎にお礼として記念品を贈呈しています。議員とのモニター会議は前期と後期の2回開催し、意見交換を行なっています。



浦幌町議会視察で説明を受けている様子

### 議員のなり手不足

平成26年3月に、定数を13人から11人とし、報酬も14万5千円から17万5千円へ改正しましたが、平成27年4月の町議選で立候補が10人とどまり、1人の欠員が生じています。改選後の2年間で第2次議会の活性化とし、町民に身近な議会を目指すための5項目を議会活性化の視点と位置

づけ、検討をしています。その中の、視点①地方議会の役割で「議員のなり手不足」を最優先課題と位置づけ、欠員となつた原因や議会のあるべき姿を町民と共に考えていきました。平成27年10月に札幌大学教授による「議員のなり手不足」の議員研修会と、町民に対し「議員のなり手不足を考える」と題して講演会を開催しました。

# ◆芽室町◆

## 議会改革

平成19年3月に「議会と議員活動の原則」4条文を盛り込んだ自治基本条例が制定されましたが、平成23年の改選後、議会改革・活性化を進めるうえで議会基本条例の制定が必要との議論が高まり、平成25年3月に議会基本条例を全会一致で可決しました。

議会基本条例は平成25年4月1日に施行され、基本的には、それまで積み上げてきた議会改革・活性化策と、これから新たに取り組む議会改革・活性化策を条文化しています。

議会基本条例とともに、議会会議条例の制定、通年議会制、議会、だより



芽室町議会の皆さまと

の通年発行など7項目の議会改革をスタートさせました。

議会改革・活性化策としてSNSを活用し、平成28年5月からはタブレットを導入しています。その他にも、議会白書の作成・公表、全会議

のインターネット中継・録画配信などを行なっています。

平成29年には、町民との意見交換会の深化と充実、参考人制度・公聴会制度等の実践検討などを行なっています。

## 議会サポーター制度

議会改革・活性化を議会及び議員だけで成し遂げることは、至難の業であるため、議会モニター制などにより、町民

の声を活かすとともに、外部機関のネットワークを積極的に活用し、任期の4年間の中で現実を重視する必要があると

ます。

北海道大学公共政策大学院包括連携協定及び議会基本条例案策定で、有識者の協力をそれぞれ得ることになり、平成24年4月1日に栗山町議会サポーター制度

を参考に制度を制定し、有識者5名にサポーターを委嘱しました。

議会基本条例にも制度について明記し、現在、2代目のサポーターとして8人に委嘱しています。

サポーターは主に、議員研修の講師となり、議会運営上の様々な分野

でのアドバイスや政策形成をベースとした所管事務調査にも助言をしています。

サポーターには、講演の謝礼以外の報酬等はありません。

## ◆まとめ◆

浦幌町議会、芽室町議会とともに議会基本条例の制定後、「議会の活性化」や「議会活性化計画」により、議会モニター制度、議会サポーター制度、

議員、議会、事務局の三者が一体となり、議会活性化を進めていました。

まちなかカフェ、議会白書発行などの取り組みを進めるとともに、ホームページやSNSを活用し、広く公開しています。

本町議会も、議員の意識改革により、議会改革について議員間で協議し、町民の意見を聴取して町民のための議会活動に結びつく、住民参加型の「開かれた議会」に

なっています。

深めていくことが重要だと感じました。

議会基本条例により、

だと感じました。



芽室町議会視察で挨拶をする佐川委員長



## 総務産建常任委員会

平成29年第3回定例会で閉会中の継続調査として申し出した「定住・移住について」を、平成29年9月から3回にわたり委員会を開催し、平成30年1月29日から31日までの3日間、島根県邑南町及び飯南町を視察し、調査を行いました。

## ◆島根県邑南町◆

おおなんちよう

子育て世代にやさしく住みやすいまちづくりを目指す「日本一の子育て村構想」と、邑南町の生産者が育てた食材を使い、ここでもしか味わ



邑南町の皆さまと

## A級グルメ構想

平成23年度から5年間、「A級グルメ構想」の取り組みとして、平成23年にレストランと加工場を併設した拠点となる施設を開設。邑南町の特産品を活かし、こ

UIJターナー者である料理長、ソムリエ、パテシエ等と町内で起業、就職を目指し、全国から募集した「耕すシェフ」が野菜の栽培から食材の研究、料理の提供を行なっています。また、インターネットでの販売も行なっています。

## 日本一の子育て村構想

平成23年度から10年間、「日本一の子育て村」の取り組みとして、商工会のポイントカードを利用した子育て支援ポイント付与制度、中学校卒業まで医療費無料、保育料第2子目以降無料、などを実施していま

子育て」を实践し、「日本一の子育て村」を実感できる町にという提言を受け、出生届のコピーや自動車に貼る子育てステッカーの贈呈、防災無線で子ども誕生の放送が行なわれていました。教育面では、読書の習慣づけによる学力向上のため、全ての学校に図書館司書を配置、町内高校の寮費とバス定期券代の支援、塾と連携して補習授業の講師に現役

## ◆島根県飯南町◆

いひなんちよう

東大生を起用するなど、町内唯一の高校の存続に努力していました。大学等進学支援では、奨学金制度を充実させ、卒業後町内に就職した

場合に返金免除制度を設けていました。こうした取り組みの結果、合計特殊出生率が上昇するなどの成果が出ていました。

飯南町の移住・定住施策は、少子高齢化による人口減少に歯止めをかけるため、定住の促進を町の最重要プロジェクト

と位置づけ、定住財団や各団体と連携した定住促進の取り組みを行なっています。



出生の届をした方へ配布しているステッカー

## 定住に対する推進体制

移住促進のため、人材確保支援センターを設置し、4名の専門スタッフで求人情報の提供や地元企業との連携により、求人発掘・人材紹介などを行なっていました。また、移住を考えている人への連絡や見学対応、仕事の斡旋や悩み事の対応等、全般にわたり活動していました。

人材確保支援センターや無料職業紹介所を役場内に設置し、職業安定所から認定を受け、ハローワーク同様の業務ができる環境を整え、あらゆる範囲の職業を移住者に紹介できる体制を整えていました。また、若者の仕事を創り出すための取り組みも進めていました。



飯南町の皆さまと

直接の相談でしか伝えられない情報もあるため、都会での出張移住相談会に参加し、好感触の人には積極的な情報発信をしていました。

従業員の技術・資格習得の補助、新規創業等で建設した建物の固定資産税相当額の助成、医療や福祉施設に従事を考えている学生への助成、U・I・Jターナー者が町外へ通勤する際の助成により、人口確保に努めていました。

制度やハウス・農業機械の設置導入に対する補助、農家で働きながら短期間滞在し、地域と交流できるイベントが開催されていました。

住宅の支援では、住宅を新築・購入する際の借入金助成、町が建設した住宅を25年間賃貸後に譲渡する制度、空き家バンク登録後、改修・片付けに対する補助制度が充実していました。

## ◆まとめ◆

今回の2町の移住対応は、移住に特化した専従職員を複数配置し、県やNPOとも連携して取り組んでいました。

移住希望者と接点を持ち、積極的に連絡を取り、町を訪問してもらい、訪問した際には丁寧に対応し、移住者と話す場を設定していました。

仕事では、特に農業で

様々な支援策があり、働き方も専業ではなく、半分は農業、半分は他の仕事で生計をたてる暮らしを選択できる制度がありました。また、多分野で地域おこし協力隊を任用していました。

子育てでは、中学校まで医療費無料化や保育料第2子目以降無料などの施策や病児保育等が充実していました。

教育にも力を入れ、公営の塾の設置、地元高校に通ってもらう制度の実施、卒業後も地元で働いてくれるような奨学金の制度の充実など努力していました。

移住もまちづくりの一環と捉え、単に人口増ではなく、間口を広げた考え方で農業就業者対策や創業・起業による働く場の提供制度の拡充も有効と考えます。



飯南町からの説明の様子



東中会館での懇談会の様子

## 議会運営委員会

議会では、広く町民の皆さまと懇談する機会を設けるため、第8回議会懇談会を2月14日に開催しました。昼は東中会館と江花会館、夜は保健福祉総合センター「かみん」の3か所で開催し、議員13名が参加いただいた43名の町民の皆さまと「町の将来を語ろう」をテーマに懇談しました。

最初に各常任委員会の1年間の活動や調査報告、条例案に対する付託等、広域連合議会活動報告について担当議員により説明を行ない、質疑応答を行ないました。

その後、町民と議会との直接的な懇談の場として、テーマ「町の将来を語ろう」に基づき、幅広く町民からの意見を聞いて懇談し、相互の意見交換を図りました。

## 懇談会でいただいた要望・意見

### 観光

- ・観光客が畑に入ってくるため、マナーの周知をお願いしたい。

- ・西3線道路への夏の観光バスが多く、トラクターと接触しそうになるなど、危ない。路上駐車もひどい。

### 子育て・医療・福祉

- ・子育てや育児と介護を分けた行事・イベントではなく、乳幼児と高

齢者が一緒に食事をした

たり、交流できる行事や場所があってもよいのではないか。

- ・民生委員の負担が郡部と市街地でかなり差がある。活動費として町から出ているが少ない。活動費を倍にすることはできないのか。市街地が特に大変であるため、市街地の人だけでも上

アンケート結果では、

多くの町民が参加できるように、より興味を持ちやすい議会懇談会のテーマや、参加しやすい実施方法などを検討し、見直していくことが求められています。



かみんでの懇談会にご参加いただいた皆さま

### 移住・定住

- ・空きアパートを町で取得し改修して、お試し暮らし住宅とできないか。1階は老人世帯、2階は子育て世帯などもよいのではないか。

### まちづくり・財政

- ・東中住民会で東中中学校の跡利用について、1社の誘致に対し反

### 広報・広聴

- ・防災無線で「子どもが生まれた」放送があってもよいのでは。

対となったが、跡利用が決まるまでは適正な管理をしてほしい。

- ・住民会長連合会と議会（議員）が連携し、政策提言できれば良いのではないか。一緒に作り上げていくべきではないか。



## アンケート集計結果

### アンケート回収数

34名（回収率79・1％）

男性29名 女性5名

### 年齢

|        |          |
|--------|----------|
| ・40代以下 | 8名（26％）  |
| ・50代   | 2名（6％）   |
| ・60代   | 12名（39％） |
| ・70代   | 7名（23％）  |
| ・80代以上 | 2名（6％）   |

### 議会懇談会の参加状況

|       |          |
|-------|----------|
| ・初めて  | 18名（53％） |
| ・2～5回 | 14名（41％） |
| ・6回以上 | 2名（6％）   |

### 開催を何で知ったか

|               |          |
|---------------|----------|
| ・住民会、町内会での回覧等 | 19名（38％） |
| ・町広報          | 9名（18％）  |
| ・議会広報         | 8名（16％）  |

### 開催時期

|         |          |
|---------|----------|
| ・今頃     | 27名（82％） |
| ・1月     | 2名（6％）   |
| ・10～11月 | 1名（3％）   |
| ・いつでも良い | 3名（9％）   |

### 公民館等のポスター

6名（12％）

### 防災行政無線

6名（12％）

### その他

2名（4％）

### 開催日・開催時間

|     |          |
|-----|----------|
| ・平日 | 15名（94％） |
| ・休日 | 1名（6％）   |
| ・日中 | 15名（68％） |
| ・夜間 | 7名（32％）  |

### 懇談会テーマについて

|         |          |
|---------|----------|
| ・良かった   | 14名（61％） |
| ・まあまあ   | 8名（35％）  |
| ・良くなかった | 1名（4％）   |

今後、取り入れたほうがよいと思うテーマ

・子育て・高齢化対策など、テーマ別で懇談会が開かれれば良い。

- ・高校の存続について。子どもが帰ってくる町にするためには。
- ・町税を増やすためには。テーマは必要ない。町民の要望を取り入れる、意見を聞く。

### 議会懇談会に対しての意見・提言等

- ・今回は子育ての母親の意見があつてよかった。地域に出歩いて話を聞くことは大変良い事である。
- ・議員の方々は遠い存在だと思っていました。が、個人の思いなども聴けて安心しました。とても良い機会なので続けて欲しいです。自分がこの町に思っていることはなかなか伝えられないので。

### 議会懇談会の継続

- ・継続すべき 28名（90％）
- ・どちらともいえない 3名（10％）



江花会館での懇談会の様子

### 議会傍聴について

- ・傍聴したことがある 13名（48％）
- ・傍聴したことはない 14名（52％）
- 議会活動に対してのご意見等
  - ・もっと町民の意見を聞きたい。
  - ・傍聴者を増やす努力をされたい。

たくさんのご参加  
ありがとうございました!!

## ふるさと応援モニター事業

### 質問

ふるさと納税により財源を確保し、寄附者に対して返礼品等を贈るなど、地域の活性化をしている自治体が多くあるが、わが町での実施は。

### 答弁

町の発展に資するような制度づくりなど、工夫の余地がある。関係者と研究していく。

### その後

平成 29 年 6 月 21 日「ふるさと応援モニター事業」として、取り扱いがスタートされました。

かみふらのふるさと応援寄附制度を活用し、町の産業振興と地場産品の全国への PR、地域活性化を目的として、町外からの寄附者に対して町の特産品などのモニター品を送り、アンケートなど調査が行なわれています。

また、寄附金はラベンダーを核としたまちづくり事業や十勝岳と共生するまちづくり事業の財源に充当されています。

過去の定例会で議員が行った一般質問等での提言は、その後の町政にどのように反映されたのでしょうか。その後の経過を追跡しました。

あの質問

「どうなったの？」

## 社会教育総合センタートイレ改修

### 質問

利用者から、和式トイレから洋式トイレに改修を望む声が出ているが、どのように検討されているのか。

### 答弁

各種大会、団体利用など、利用者が多い時には洋式トイレが混雑することから、洋式化の必要性は強く認識しており、できるだけ早期に対応するよう考えている。

### その後

2 階トイレは、開設時より未整備であったため、平成 27 年度に男女 1 か所ずつ洋式化の改修を実施しました。

平成 30 年度一般会計において予算を計上し、洋式化 10 基（女子トイレ 7 基、男子トイレ 3 基）、ブース拡張等、洋式化への改修整備を実施します。



一部洋式化された社教センタートイレ

# 議会の窓



1月29日 総務産建常任委員会

先進市町村行政調査（～31日）

2月2日 厚生文教常任委員会

議会懇談会

16日 議会運営委員会

23日 全員協議会

27日 厚生文教常任委員会

28日 総務産建常任委員会

3月1日 議会運営委員会

全員協議会

6日 議会広報特別委員会

7日 第1回定例会（2日目）

13日 第1回定例会（3日目）

14日 第1回定例会（4日目）

15日 厚生文教常任委員会

16日 予算特別委員会（1日目）

19日 予算特別委員会（2日目）

20日 予算特別委員会（3日目）

22日 議会広報特別委員会

26日 第1回定例会（5日目）

4月9日 厚生文教常任委員会

11日 議会広報特別委員会

13日 総務産建常任委員会

議会広報特別委員会

ご覧になったことはありますか？

『かみふらの町議会』のホームページを紹介します！！

<http://www.town.kamifurano.hokkaido.jp/>

上富良野町行政ホームページの中に『かみふらの町議会』のページがあります。

このボタンを押すと、かみふらの  
町議会に関する情報が見られます。



ここをクリック



ここでは、議会リポート、議会だより、会議録、本会議日程・一般質問等、議会要覧、議会議員名簿、議会の仕事、委員会の仕事、議会の傍聴について、各種データ（委員会の調査報告・審査意見、議会改革の経過、アンケート結果）などを見ることができます。

議会の傍聴してみませんか？

町議会では年4回、3月・6月・9月・12月に定例会を開催し、また、必要に応じて臨時会を開会しています。

議会の傍聴は、最も身近な議会活動に触れることのできる方法です。議会では住民生活に関わる様々な案件を真剣に審議しています。

また、定例会では議案のほかにも議員が行政（町長や教育長）へ質問をする「一般質問」も行なわれます。

次の定例会開会予定は…

6月19日（火）・20日（水）です！

※この日程は変更になる場合がありますので、ご確認のうえ、役場3階の議場までお越しください。

お気軽にお越しください。

たくさんの方の傍聴をお待ちしています！

お問い合わせ

上富良野町議会事務局 電話 45 6992



み~つけた!!

# ☆ぴか☆つと輝くまちのひと



町民の在宅医療を担う訪問看護ステーションの皆さんを訪ねました。スタッフ8名で50人の患者さんを月に350回以上訪問看護しています。

## 訪問看護ステーションの

### お仕事を教えてください

訪問看護は、介護保険・医療保険を問わず、赤ちゃんから高齢者までが自宅に居ながら、看護師が療養やリハビリのお手伝いをします。住み慣れた家に病院の病室がある感じです。

介護認定を受けている方には、ケアマネジャーと連携を図り、高齢者の自宅に訪問し、様々なサービスにより療養生活をお手伝いしています。介護保険事業が始まる前から、自宅で療養を望む高齢者の

訪問看護とは違い、経験豊富な看護師が医療機関と連携し、患者の自宅で専門的な医療処置を行ないます。家族だけでは不安な事も、しっかりサポートできます。



## 現在の訪問看護ステーションの

### 悩みは何ですか？

一番は、看護スタッフの確保です。看護サービスとして患者の医療的なケア、日常生活支援の看護、薬の管理、健康状態の観察・リハビリに加えて、患者や家族の介護支援や精神的ケアを単独で行なうために、一定程度の看護経験があるスタッフが必要です。

また、在宅での「ひとり」を希望される方も増えてきており、町も在宅医療の人材確保に力を入れていただけたら嬉しいですね。

議会議員にも訪問看護の事をもっと知ってもらい、町民の在宅医療の不安や悩み解消に繋げていただきたいと思います。

## インタビューを終えて

ありがとうございました。町は超高齢社会を迎え、地域医療を取り巻くニーズは複雑多様化しています。医療だけではなく、介護と福祉が密接に連携を図り、施設・在宅なども含め包括的に進めることが強く望まれます。

一つの時代も、多くの人は住み慣れた自宅で終焉を望みます。数日

でも自宅に戻り、家族と一緒に暮らせる福祉推進の一助として、訪問看護のスタッフは日夜、在宅で療養している患者のために真心を込めて「手」と「目」で「看る」ことを続けています。

心温まる看護に心から敬意を表し、今後も町の在宅医療を担っていただきたいと思います。(インタビュー…金子)

## ひとりごと...

■1年生は4名、東中小学校の入学式に行ってきました。新しい服やランドセルに身を包んだピカピカの1年生が、眩しく輝いて見えました。■新小1男子のやりたい職業を尋ねたアンケートでは、「スポーツ選手」が20年連続でトップです。そんな中、海に向かってからエンゼルの大谷翔平選手が、本拠地初打席で初本塁打を放ったニュースが飛び込んできました。4打数3安打3打点の大活躍です。

いま、世界で日本のスポーツ選手は大活躍です。野球、卓球、スケート、カーリングなどなど：日本人として誇らしく感じます。

■かみふっ子の中から、将来世界に羽ばたく子が育ってくれることを期待したいと思います。■新年度が始まりました。今年こそ災害のない穏やかな日が続き、豊穡の秋を迎えることができますように：(中澤 記)

## 議会広報特別委員会

|      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 高松 克年 |
| 副委員長 | 金子 益三 |
| 委員   | 中澤 良隆 |
|      | 竹山 正一 |
|      | 米沢 義英 |
|      | 中瀬 実  |